

第13回日韓学術交流研究大会のお知らせ <プログラム詳細版>

1. 日 時：2022年10月28日（金）～29日（土）
2. 開催方法：対面・オンライン併用（ハイフレックス方式）
3. 開催場所：韓国放送通信大学（ソウル市内）※大学が位置しているソウル市中区までは、仁川空港からは1時間半、金浦空港からは1時間とアクセス良好です。
4. テーマ：「韓国と日本の女性生涯教育の観点と学習実践」
5. 共催：日本社会教育学会・韓国平生教育学会
6. 参加費：
  - ・現地参加の場合：一般 50,000 ウォン、学生 30,000 ウォン 28 日夕食、29 日昼食、大会資料集の代金が含まれます）
  - ・オンライン参加の場合：無料

7. スケジュール（敬称略）：

◇10月27日（木） 14時集合 エクスカーション

（ソウル市市民大学の事例と学習都市の事例（西大門区、恩平区のうちのいずれかの二箇所）

◇10月28日（金）～29日（土）

場所：韓国放送通信大学 ヨルリン館（28日）、OUN スタジオ（29日）

<28日（金）>

9:00	受付	
9:30	開会式	
	両国学会長挨拶	ジョン・ミンスン（韓国放送通信大学）
		上野景三（西九州大学）
10:00	「フェミニズムにおける市民性と女性教育の役割」	イ・ヘジュ（韓国放送通信大学）
10:50	「教育・学習課題としての女性労働」	亀口まか（龍谷大学）
11:40	討論	
12:00	昼食	
13:30	「平生教育研究とフェミニズムの観点」	キム・ドンジン（女性主義教育研究所 FeFe 代表）
14:20	「子育て期の社会教育とジェンダー・シングルファザーの学習実践から排除と連帯を考えるー」	吉岡亜希子（北海道文教大学）
15:10	討論	

15:30	休憩	
15:50	「韓国女性運動と平生教育の共進化：水原（スウォン）女性会の事例を中心に」	ジョン・ヒョンギョン（慶熙大学）
16:40	「生きづらさを抱える女性の学習実践と職員の専門性」	鈴木麻里（西東京市教育公民館）
17:30	討論	
17:50	閉会	

<29日（土）>

10:00	受付	
10:30	開会式	
10:40	基調講演 「平生教育、激変の出発線に立つⅡ：パンデミックの日常化と情報通信技術の発展」	キム・ギョンヒ（慶南大学）
11:20	招待講演 「「おとなの女」の自己教育思想」	村田晶子（早稲田大学）
12:00	昼食	

8. 参加申込：学会 ML のメール上にあるグーグルフォームからお申し込みください。現地参加の場合は、申込締切が10月9日（日）、オンライン参加は申込締切が、10月21日（金）となりますのでご注意ください。

申込フォーム：<https://forms.gle/wHv1nWZX4THdyMnH7>

9. 本件担当：国際交流担当理事 堀本麻由子（東洋大学）・出相泰裕（大阪教育大学）

以上